

アソデ村、ウアケ地区の女性たちのための、**ACTIONS DE SOLIDARITÉ** ・

連帯のアクション会による、シアバターノキの実の加工作業用建物の建設第一報告

2023年5月16日 火曜

2023年5月16日の早朝に、連帯のアクション会のベノイト・D.アーロンソ会長はアソデにおいて行われた集会で、そこで建設予定の建物について話をしました。シアバターノキの実からバターを得るための機械をその中に設置するための建物です。

アーロンソ氏は即開始すべき工事についてみなさんのご意見を聞きました。村人たちは、彼らに関わる項目について全て受け入れて下さいました。それは、基礎のための土掘り出し、建物の建設資材の荷下ろし作業、作業場への水の運搬、地面に砂を入れること、という事柄です。そしてまた、建設作業の最後に建物の周囲に花を植えることを約束しました。

10時くらいに集会にあつまった全員で建設敷地へ赴きました。それは男性や女性の村人たち、アソデ地区長、連帯のアクション会会長と私（連帯のアクション会員ジャン・アゾムバキン）左官工長のブルーノ、鉄筋工長のジェローム、そして大工長のオーベン諸氏でした。

現場で会長は皆さんの前で短い挨拶をしました。そして連帯のアクション会の技術者たちに、建物の敷地を糸の枠組みで囲む作業を開始するよう頼みました。それから私達はジュグーへ資材購入に行きました。それは、セメント、鉄材、板、鉄棒、針金、および砂です。

もう一つの会からオルー・カリ・アラサヌ氏が代表として参加しました。この会は機械をアソデに運ぶことを担当しました。

この日の作業は19時34分に終わりました。



2023年5月17日水曜日

8時少し過ぎに村の人たちが作業をするために約束通りにやってきました。基礎穴を掘ったり、建設現場に十分な水を運ぶためです。

左官工は密度の高いレンガを建物の基礎用にこしらえ、鉄筋工はいくつかの鉄柱用および床の鉄心になる鉄材を準備しました。この間に住民は基礎のための作業を終えました。

村人たちは明日また作業を続ける約束をして、15時くらいに帰ってきました。

この日の作業は18時57分に終わりました。



2023年5月18日 木曜日

今日は7時10分くらいから雨となり、作業は11時くらいからやっと開始できました。

村人たちは8人くらいのチームで、昨日始めた穴掘りが終わっていなかったなので、それを続けました。左官工は15センチの厚みで、穴のあいたブロックを壁用に造りました。鉄筋工も作業をうまく進めました。この日は19時に作業を終えました。





2023年5月19日 金曜

8時17分に村人のチームは、この地域の綿花業会会長のザシャリーさんの指導のもと作業開始しました。そして基礎作業は16時に終わりました。大勢の女性たちが現場に水を運び、左官工はそれをレンガ作りに使います。鉄筋工の作業も順調に進みました。つまりどのチームもよく働き、この作業日は18時39分に終わりました。

私は運搬されてきた小石を何度か受け取りました。



2023年5月20日 土曜

建築現場での作業は8時くらいに開始し、左官工長、ブルーノ氏とその同僚たちは基礎あなを平らにしました。それから、村人のチーム、村長御自身、村の長老たち

数人が一緒にセメントを流し始めました。第一層ができると、鉄筋工ジェロームとその仲間が各箇所基礎用と柱用の鉄芯を置きました。

この作業は19時くらいに終わりました。



2023年5月21日 日曜

7時34分に左官工は基礎の鉄心の上に必要なセメントを流し始めました。村からは女性も男性も水運びや手助けの必要なところに来ました。

この日の作業は14時39分に終わりました。



2023年5月22日 月曜

8時くらいに左官工、鉄筋工、板張り職人の全チームと村人が、建物の基礎の壁を建てる作業を開始しました。

16時から19時の間に、下部のアンカーにもセメントが流され、建物の基礎はこの日のうちに完成しました。私は連帯のアクション会への村人たちの協力におめでとうと言いました。



2023年5月23日 火曜

7時少し過ぎに左官工たちは下のリングアンカーから窓の高さまでの壁をたてる作業を始め、別のところでは壁はすでに8段目に届いていました。12時くらいに連帯のアクション会長は、会の事務員であるアルマンド・アゴッサ氏とベルナデット・ソケヌーさんを連れて、アソデの女性たちのための建物の建設現場へ向かいました。それは、その中にシアバターノキからバターを作る機械を設置するための建物です。私達はどの作業領域でも村人たちの作業が進んでいることに満足しました。事務職の人たちは15時にアボミ・カラヴィへ戻りました。16時30分くらいには窓の位置よりも下のアンカーにセメントを流し、この日の作業は19時くらいに終わりました



2023年5月24日 水曜

7時37分くらいに窓の高さまで、壁の不足分を造り上げる作業を開始しました。建物の反対側では壁はすでにリングアンカーのところまで届いていました。数枚の板がすでにクワケの木材工場で切断されていました。この板が届けられると板張り人職の長であるオーバンさんがヴェランダの二本の柱に板カバーを打ち付けました。その少し後に強風と豪雨が来て、16時くらいまで続きました。そのあと、作業はもう一度開始され、失われた時間を取り戻そうと18時まで働きました。村人たちは仕事をよく行い、とくにオーバンさんの弟であるイドリス・ヨルーさんは素晴らしくて、私は彼の村への貢献を祝いました。



2023年5月25日 木曜

8時くらいに全チームが作業を開始しました。左官工たちは壁を、上のリングアンカーのところまで延ばし、数本の柱や、板張り職人が板カバーしたベランダの柱にセメントを流しました。村人チームは水を用意し、左官工を手伝いました。私はバレイへセメントを買いに車を走らせました。帰る途中でタイヤがパンクしました。村人たちは修繕の手助けをして下さいました。建築現場の作業は今日、よく進みました。



2023年5月26日 金曜

8時くらいに左官工たちが上のリングアンカーの準備のための残りの柱にセメントを流し始めました。今日、あらゆるチームが前準備作業を終わらせ、明日は上のリングアンカーの箇所にセメントを流せるようになりました。数トンのブロックが造られました。村人チームは一日中現場にいました。



2023年5月27日 土曜

8時くらいに鉄筋工が壁の上に鉄材を置き始め、板張り職人は板を張り付け、左官工は村人チームと一緒に、上のリングアンカーのところに一気にセメントを流しました。



2023年5月28日 日曜

8時に板張り職人は上のリングアンカーのところの板を剥がし、左官工たちは村人チームの手伝いを得ながら、その上にさらに4段のレンガを積みました。村のポンプは全部壊れていたもので、女性たちは雨水を運んできましたが、数日前から雨は降っていません。この問題は3輪車の持ち主に拠って解決され、水は現場へ運ばれました。ブラボー、作業のみなさん！ブラボー、村のみなさん！



2023年5月29日 月曜

作業は8時くらいに開始し、鉄筋工は鉄材を壁の上に運び、板張り職人は板を張り付け、左官工は屋根の下の4番目のリングアンカーにセメントを流しました。

連絡がなかったため、村人チームは現場に来ませんでした。本当は毎日別のチームが来るようになっていたのですが。



2023年5月30日 火曜

板張り職人は8時くらいに4本のリングアンカーの板をはずしにかかりました。この作業が終わると、左官工たちは、村人チームの助けも借りながら、3箇所破風の壁を作り始めました。雨が降らなかったため、今日は女性たちが水を運搬するのは非常に困難だったので、再度三輪車の人が水を運んできました。



2023年5月31日 水曜

8時くらいに左官工たちは4本目のリングアンカーのところに、3段のレンガを積み上げました、板張り職人は破風の柱を板で囲みました。そのあと柱にセメントが流されます。この建物全体を囲むべき花畑は、そもそも基礎壁の崩壊をふせぐためにあるのですが、これもこしらえられました。今日、村人チームは建物内部に砂を運び入れる仕事を始めました。



2023年6月1日 木曜

板張り職人は破風の柱の板を取り除き、花畑用の小さな柱に板を張りました。そこに左官工がセメントを流しました。建物のランプウエーが付きました。この建物の壁作りは本日終了しました。



2023年6月2日 金曜

今朝早く私は連帯のアクション会からの現場への訪問を受けました。アーロンソ会長、ズイタ・トッサ夫人、ベルナデット・ソケヌー夫人、ノーベルト・アラグベ氏の面々です。みなさんは会が建てさせている建物の建設状況を見る意図でした。みなさんは又、アソデ村の村人のみなさん、女性のリーダーシップと権利獲得の会会長オルー・カリ・アラサンヌ氏と会合を行いました。

この会は機械をアソデへ運んでくることになっています。



2023年6月3日 土曜

アーロンズー会長がCEGアソデの衛生設備の階段で気づいたいくつかのひびを左官工たちは改善しました。

2023年6月4日 日曜

作業人たちはコトヌへ引き払いました。建物の屋根を大工が造り上げます。

2023年6月6日 火曜

大工頭クレパン・ソヴィ氏と私、ジャン・アゾムバカンは屋根用の板を買うためにジュグーへ行きました。残念ながら、必要な量を買うことは出来ませんでした。

2023年6月7日 水曜

不足分の板を買って、寸法に合わせた切断を開始できました。

2023年6月8日 木曜

私達はもう一度残りの木材を切断してもらうためと、トタン板、釘や他の材料を買うために出かけました。全部の材料がジュグーからアソデの建設現場へ運送され、夕方には受け取れました。



2023年6月9日金曜

7時くらいに大工たちが屋根づくりを開始しました。この日の終わりまでに屋根の木造の支え部分を設置しました。



2023年6月10日 土曜

7時くらいに昨日と同じ作業員が現場へきて、陸梁（屋根を支える水平の木材）を設置する仕事を開始しました。今日の作業はよく進みました。



2023年6月11日 日曜

7時くらいからチームは作業をどんどん進め、材木を同じ高さに設置し、屋根が風にも動かぬように、あらゆる重要な箇所を鉄具で固定しました。梁を置いたあと、上に波型トタン板を固定する作業を開始しました。これで建物は雨から守られます。この日の作業はこれで終わりました。





2023年6月12日 月曜

大工たちは6時くらいに建物に上り、残りの波型トタン板を据え付けました。10時には作業は終わりました。建物はとても素敵で、アソデの女性たちはとても幸せです。



報告

ジャン・アゾムバキン